

八丈島文化協会 第3回総会

平成26年(2014年)6月17日(火) 午後7時
富士見地区公会堂 (三根 4869-1 2-2833)

1. 総会次第

- (1) 開会の辞
- (2) 文化協会会長挨拶
- (3) 議長選出
- (4) 議事及び報告事項
 - ① 第1号議案
平成25年度の活動経過報告
 - ② 第2号議案
平成25年度の収支会計報告
 - ③ 第3号議案
平成25年度の会計監査報告
 - ④ 第4号議案
平成26年度の活動計画(案)の提案及び審議
 - ⑤ 第5号議案
文化協会規約改正(案)の提案及び審議
 - ⑥ 第6号議案
平成26年度予算(案)の提案及び審議
 - ⑦ 第7号議案
平成26年度役員及び理事の承認
 - ⑧ 平成26年度役員、理事、専任職員の紹介
- (5) 来賓挨拶
- (6) 文化協会の活動に対する意見交換
- (7) 閉会の辞

【当日資料】 (総会当日配布します)

- (1) 富士見地区公会堂指定管理収支決算表
- (2) 富士見地区公会堂利用料金の改定表
- (3) 八丈島文化協会会員名簿
- (4) 富士見地区公会堂指定管理申請関連様式一式
- (5) 文化協会会員の皆さんへ(後援名義の取扱い他)
- (6) 会員アンケート(26年5月実施)結果表

2. 議事

【はじめに】

平成24年10月10日の設立総会后、暫定活動指針及び理事を決め、第2回総会までの8ヶ月きちんとした協会組織の確立を目指してきました。協会にとって昨年6月29日の第2回総会が初の総会といえるものでした。活動方針、規約などについて期待の込められた多くの意見をいただきました。

選出された理事を中心に、会員の皆さんの要望実現に努力しておりますが、まだまだ発展途上の段階です。そのような中、浅沼亨年会長が1月3日逝去されたことは、協会にとって大きな痛手でしたが、乗り越えて、亨年会長の遺志を受け継いで、八丈の文化振興のためにより一層頑張っていくこと表明するとともに、ご冥福を心よりお祈りいたします。

1年間を総括し、第3年度の方針を練って参りましたので提案いたします。これからの1年、理事を中心に期待に応える活動に努力いたします。会員の皆様の積極的な検討をお願いします。

【第1号議案：平成25年度活動経過報告】

1. 理事会は8回開催しました。
(第1回7月18日、第2回10月11日、第3回10月29日、第4回12月13日、第5回1月16日、第6回4月30日、第7回5月22日、第8回6月6日)
2. その他の諸会議は必要に応じて事務局会議、各部会等を多数開催し、活動の検討を行ない実行しました。
3. 協会主催で開催した「第1回八丈島芸能文化祭」は実行委員会形式で運営し好評でした。文化フェスなど他の補助3事業も滞りなく完了しました。
4. 協会の会員数の現状は団体37、個人13です。協会活動の目的や運営にも大きく影響するため、会員増に強化して取り組みました。現在の加入率は協会調査による文化団体数の約7割です。さらに加入促進を進めます。
5. 活動に対する助成等は、町からの補助金130万円を、協会を通じて所定の事業（芸能文化祭、文化フェスティバル、島民大学講座、おやこ劇場の各事業）へ全額交付しました。別途要望した協会事業には予算がつかず、ゼロ査定でした。26年度も総額約670万円の予算要望をしましたが上記4事業のほかはゼロ査定でした。協会に対する補助金は無しというのが現状です。

以下、昨年掲げた活動方針に基づきこの1年をまとめてみたいと思います。

25年度は協会にとって本格的な活動が始まる初年度で、協会としての地域文化活動が試される1年でもありました。下記の活動指針の2つの目標を、地域の文化活動に定着させる第1歩になればという思いで進めてきました。

【25年度活動指針】

1. 自主的な文化活動を通して、会員相互の交流と、加盟団体・個人の強化発展を図ります。
2. 八丈島の地域文化の普及振興に努め、地域づくりに寄与します。

(1) 協会組織の強化

まず協会組織の強化が不可欠です。総会以降、①八丈島の文化協会のあり方とは、②協会に相応しい組織とは、③理事の定数、④文化情報の共有化、⑤会報発行と情報発信など、協会のあり方を理事会で検討しました。特に事務局強化に取り組み、専任事務局員もおいて運営に努め、会員、理事等が自由に集まり活動できる拠点を運営してきました。公会堂は町の指定管理を委託され、一般住民とともに文化団体も使用しています。

富士見地区公会堂 三根 4869-1 (2)2833

管理事務所 開所時間:月～金曜日 9:30～12:00 利用時間:9:00～22:00

(2) 会員の文化活動の支援

会員の文化活動について次のような支援をしました。

1. 島の文化情報を収集し、会報やインターネットを通じ必要な情報を提供します。⇒下記①～③を実施しました。

① 「八丈島イベントカレンダー」による情報共有化

島内のイベント活動支援のために、協会のホームページ上に「八丈島イベントカレンダー」を公開しました。また、社協・八丈町との協働で、紙ベースの年間イベントカレンダーを作成、広報折込みで全戸配布しました。今後も「いつ」、「どこで」、「どのような」イベントが行われるのか、文化情報等を収集し、ネット媒体を利用して発信、情報共有化を図り、会員がイベントや文化活動を行う日程を決める際、他団体や島内行事との調整に活用できるサイトを構築します。

②協会報、ホームページによる情報発信

協会報第2号、第3号、第4号を発行し、文化協会の活動情報や主催イベント、町ホール情報などを発信しました。また、昨年8月に協会のホームページを開設し、加盟団体の紹介や富士見地区公会堂の利用方法などの定期情報のほか、ブログ形式で最新情報を発信しました。

③広報活動による支援

「協会のネットワークづくりを進め、広報等の支援ができる体制を」という目標の第一段階として、ホームページを開設し、加盟団体の紹介ページや、ブログで、加盟団体の活動や主催行事を紹介しました。今後はさらに充実した広報活動支援ができるように努めていきます。

2. 会員の文化活動の場づくりを広げるために、富士見地区公会堂利用の会員便宜を進めます。指定管理者となった「富士見地区公会堂」を、会員が練習場等として気軽に利用できるような仕組みをつくりま

⇒ 指定管理を受託した昨年6月～3月まで、団体会員を中心に延べ225回2150人が利用しました。会員に対しては協会が助成を行い、低料金で利用できるようにしました。気軽に利用しやすいと会員からも好評です。これからも練習、発表、コミュニケーション施設として快適利用を目指します。

3. 開館した「八丈町多目的ホールおじゃれ」を、身近で利用しやすくするため「施設利用の優遇」が得られるよう努めます。

⇒ 施設使用料や付帯設備（音響・照明機器、ピアノなど）使用料が高いため、協会の会員が主催する事業及び協会が後援する事業に対し、使用料の減額や優先予約などの優遇措置が得られるよう要請しましたが、町の利用規定等もあり特段の進展はありませんでした。多目的ホールおじゃれ運営委員会などの行政組織に会員、理事が参加し、意見提言を行ない、関連施設の利用促進に努めてきました。引き続き粘り強く要請していきます。

4. 「個人と団体」、「プロとアマ」を繋ぐ仲介役（コーディネート）を担います。

⇒25年度は、専門家を呼んでのワークショップ実施への協力や、転入者からの問い合わせに対して加盟団体を紹介するなどの取り組みを行いました。今後は、協会が仲介役となって会員を支援する仕組みを、より具体的に構築していきます。

5. 文化・芸術を、より身近なものにするための会員特典を考えます。

⇒ 「コンサートや舞台公演などに気軽に足を運びたい」などの会員の要望に応えるため、当協会が主催する公演を会員特別価格または無料で鑑賞出来るようなシステムづくりをというのが本項目の願いですが、将来課題です。文化協会が将来ホール運営の指定管理を受託する様な事があるとすれば、具体化の可能性があると考えられ、将来展望として追求していきます。

6. 他団体との交流を目的とする自主イベントを企画できる体制を整えます。

⇒ 「発表の場を作りたいが単独公演に踏み切れない」、「他ジャンルや他団体との共催などで町民との文化交流を深めたい」、「これから文化活動をはじめたい」などの会員のために、他団体との交流を目的とする自主イベント等の支援体制を整えたいという目標ですが、まだまだ途上です。長い将来目標ですが、協会が組織力、財政力をもっともって持ち得たときに向けて、協会のレベルアップに努めていきます。また、文化団体以外の団体とも地域活動で関係が広がりつつあります。

(3) 八丈島の地域文化の普及振興

文化協会主催イベントの実施体制づくりを行うとともに、八丈島の文化振興に繋がる企画やイベントの支援活動を進め、事業の共催、後援、助成等で、活動の輪を拡げることがを目的に、下記の3つの方針を掲げました。

1. 次年度以降の実施にむけて、八丈島の地域文化振興につながる企画やイベントを協会主催で実施できる体制作りを努めます。

⇒ 八丈町補助金を活用し、協会主催で実行委員会を立ち上げ、「第1回八丈島芸能文化祭」を開催しました。島内外の伝統芸能、ダンス、ジャズなどをさまざまに組み合わせたコラボが観客に好評でした。開催にあたっては、島内企業や個人から多数の協賛をいただきました。

【協会主催】 第1回八丈島芸能文化祭

平成25年2月23日開催（多目的ホールおじゃれ） 観客動員数：202人

島外ゲスト：鳴海昭仁、今千里（津軽三味線）

BBOY KATSU、SHUN（ダンサー）、福本純也（ジャズピアニスト）

島内出演者：八丈太鼓六人会、民謡保存会、樫立踊り保存会

佐藤光昭、D→CREW、Heat up

2. 島の文化振興につながるイベントを企画し、事業の共催、後援等を通じて支援に努めていきます。

⇒ 25年度は、下記のイベントについて共催、後援、協力を実施しました。

【共催】

- ・第25回八丈島文化フェスティバル（平成26年1月26日 文化フェス実行委員会主催）

【後援】

- ・第1回八丈島JAZZフェスティバル（平成25年8月21日、22日 おじゃれ運営委員会主催）
- ・HIP HOP 児童館 IN 八丈島（平成25年8月27日 D→CREW 主催）
- ・第65回八丈島民大学講座（平成25年9月7日、8日 八丈島民大学講座実行委員会主催）
- ・講演会「杉山邦博が伝える大相撲半世紀」（平成25年10月3日 八丈ストア主催）
- ・第1回八丈アンサンブル（平成26年3月16日 ヴァイオリニスト・水村浩司主催）
- ・学芸フィルハーモニー八丈島特別演奏会（平成26年3月24日、東京学芸大主催）
- ・第66回八丈島民大学講座（平成26年3月8日、9日 八丈島民大学講座実行委員会主催）

【協力】

- ・第44回團伊玖磨記念八丈島サマーコンサート（平成25年8月18日八丈町教育委員会主催）
- ・愛奏会ウィンドオーケストラコンサート（平成25年8月19日：日本獣医生命科学大学愛奏会）

3. 八丈町補助金を活用した文化事業助成を実施しました。

⇒ 八丈町より公布の補助金130万円を活用して、初の「八丈島芸能文化祭」を主催するとともに、過去に補助金活用実績のある下記の事業への助成を実施し、補助金の効率的運用に心がけ、各事業とも好評のうちに終了しました。

八丈島芸能文化祭事業（40万円）

八丈島文化フェスティバル事業（20万円）

八丈島民大学講座事業（25万円）

八丈島おやこ劇場事業（45万円）

さらに事業への助成が拡がるよう助成金や事業費の増加要望に努めました。

【第2号議案：平成25年度の収支会計報告】

平成25年度 八丈島文化協会 収支決算書

【 収 入 】

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	差引増減	説 明
会 費	100,000	124,000	24,000	団体 37 個人 13
助 成 金	1,300,000	1,300,000	0	八丈町補助金
雑 収 入	250,000	5,644	244,356	コピー機利用料収入
寄 付 金	420,000	602,060	182,060	寄付金（個人 400,000 その他 202,060）
繰 越 金	0	0	0	
	2,070,000	2,031,704	38,296	

【 支 出 】

科 目	予 算 額	決 算 額	差引増減	説 明
事 業 費	1,300,000	1,300,000	0	八丈島芸能文化祭事業 40 万円 文化フェスティバル事業 20 万円 八丈島民大学講座事業 25 万円 八丈島おやこ劇場事業 45 万円
会 議 費	20,000	12,690	△7,310	総会缶茶代、資料印刷代
広 報 費	40,000	6,960	△33,040	印刷代、用紙代、インク代
通 信 費	50,000	43,368	△6,632	インターネット通信費等
事 務 費	80,000	43,597	△36,403	事務用品、用紙代等
資料研修費	50,000	0	△50,000	
事 務 所 費	100,000	0	△100,000	
人 件 費	400,000	0	△400,000	
雑 費	0	4,013	4,013	ティッシュペーパー、お茶、手数料
予 備 費	30,000	95,600	65,600	公会堂利用助成
	2,070,000	1,506,228	△563,772	

収入総額 2,031,704 － 支出総額 1,506,228 ＝ 繰越額 525,476

【第3号議案：平成25年度の会計監査報告】

平成26年6月5日、平成25年度の財務その他の監査を実施した。監査項目は、出納帳簿の帳票類 預金通帳類 領収書類 その他であった。

監査の結果、帳票類の記帳、預金通帳による金銭の管理及び出し入れ、領収書類の整理・保管とも正確に行なわれていたことを確認した。

上記のとおり報告します。

平成26年 6月 5日

監 事 佐 藤 謙

監 事 林 薫

【第4号議案：平成26年度の活動計画(案)】

第3年度目の本年は、文化協会にとってこれまでと一味違う「文化協会とは？」に答えられる、具体的な活動が会員の期待に近づくこととなります。

下記の活動指針を柱とし、文化の地域づくりの一步となるよう進めます。

(1) 協会組織・事務局体制の強化

活動の具体化には協会組織の強化が不可欠です。文化協会らしい動きが出来るよう運営体制確立を進めます。とりわけ運営の要となる事務局を強化します。

協会本来の業務に併せ、事務局の仕事は多様で体制強化は欠かせません。行政や町民からの依頼等も多くなり、最近では他県からも連絡・依頼があったほか、文化以外の多様な働きかけや問合せもあります。専任職員化や円滑な施設運営、事務処理のための備品や機器充実など、町にも十分ご理解をいただきながら、本年も徐々に組織体制を整え、強化を図っていきます。

八丈島文化協会

TEL・FAX (2)2833 Mail bunkakyokai8jo@yahoo.co.jp

※富士見地区公会堂管理事務所

八丈町三根 4869-1 開所時間(月～金曜日 9:30～12:00)

(2) 加盟団体同士の交流の推進

会員同士の活動交流は、情報交換や個々の団体の活性につながります。代表者会議や交流会の機会を作り、会員同士の交流を促進するとともに、会員の意見を協会運営に反映しやすい環境づくりをめざします。

(3) 文化フェス、芸能文化祭を協会の2大イベントに

文化フェスティバルを協会主導の主催事業として今年度から新たにスタートさせ、八丈島芸能文化祭とともに協会の2大イベントに位置づけます。文化フェスは入場料無料の島民参加の地域型イベントに、芸能文化祭は入場料を有料とし、プロの演奏を堪能するとともに、会員団体とプロのコラボレーションなども手がけるものとして運営していきます。

(4) 会員の文化活動の支援

会員が取り組んでいる文化活動を支援するため、次のことを実施します。

- ①文化協会指定管理施設「富士見地区公会堂」の会員利用助成を進めます。
- ②会員団体のイベントその他の活動の広報活動充実に努めます。
- ③イベント案内等の印刷物作成の支援が出来るようにします。
- ④支援情報（多様な文化情報の発信など）の提供に心がけます。

(5) 情報発信の充実

加盟会員団体の活動情報をはじめ、活動する上での支援情報を集約し、ホームページや会報で発信するとともに、携帯メールを有効活用し、各種情報を提供していきます。

また、会員の助成要望を反映させるため、補助金申請に対する情報発信の充実も図ります。（町への予算要望は10月です。）

八丈島文化協会ホームページ http://8jobunka.jugem.jp/ (八丈島イベントカレンダー掲載)

(6) イベントカレンダーの充実

「八丈島イベントカレンダー」は好評でした。行事企画等の調整に活用できるよう、より早い情報の入手に勤め、インターネット上に常時公開提供し情報共有化を図ります。また文化情報を収集し、会報やインターネットを通じて必要な情報を提供します。

(7) 八丈町補助金増額の要望

協会の存在が認知され、協会への連絡、問合せ、依頼などが多くなってきました。行政からの依頼なども増えており、業務が確実に増えつつあります。協会事業への助成の拡がり、加盟団体への活性化へも繋がります。助成金や事業費の増加に努めます。

(8) 文化振興のための提言

島の文化振興に係る提案や要望を取りまとめ、町などと協議していきます。また、おじゃれホールや町の施設についての提案など、会員の意見を反映していきます。

(9) 富士見地区公会堂の指定管理と運営

地域住民とも共有使用する公会堂の指定管理者として、利用者が気軽に、使いやすく、きれいで安価な施設の運営管理を目指します。

【その他】

今年度八丈町より公布される補助金160万円を活用し、町の補助金要に基づき下記の事業の実施と助成を実施します。

- ・八丈島文化フェスティバル事業(30万円)
- ・八丈島芸能文化祭事業(60万円)
- ・八丈島民大学講座事業(25万円)
- ・八丈島おやこ劇場事業(45万円)

【第5号議案：八丈島文化協会規約改正(案)】

規約については、前回総会で建設的な指摘が多くありました。出された意見の内容に沿って検討を加えました。改正案を提案しますのでご検討をお願いします

【別添 改正案をご参照下さい。】

【第6号議案：平成26年度の予算(案)】

平成26年度 八丈島文化協会 予算 (案)

【 収 入 】

単位：円

科 目	今年度	前年度	比較増減	説 明
会 費	141,000	100,000	41,000	団体 37 個人 15 賛助 5
助 成 金	1,600,000	1,300,000	300,000	八丈町補助金
雑 収 入	5,000	250,000	△245,000	印刷・コピー等収入 利子
寄 付 金	50,000	420,000	△370,000	寄付金
繰 越 金	525,476	0	525,476	
	2,321,476	2,070,000	251,476	

【 支 出 】

科 目	今年度	前年度	差引増減	説 明・備 考
事 業 費	1,950,000	1,300,000	650,000	文化フェスティバル事業 30 万円 八丈島芸能文化祭事業 60 万円 八丈島民大学講座事業 25 万円 八丈島おやこ劇場事業 45 万円
会 議 費	50,000	20,000	30,000	総会、理事会、代表者会議開催費
広 報 費	30,000	40,000	△10,000	会報発行費
通 信 費	50,000	50,000	0	インターネット通信費等
事務・消耗品費	50,000	80,000	△30,000	事務用品、消耗品他
資料研修費	50,000	50,000	0	資料費 研修旅費等
人 件 費	50,000	400,000	△350,000	事務作業等雇用賃金
助 成 費	50,000	0	50,000	公会堂利用助成
雑 費	10,000	0	10,000	
予 備 費	31,476	30,000	1,476	
	2,321,476	※2,070,000	251,476	※事務所費含

島の文化活動の目覚ましい活性に励まされ、期待に応える文化活動を進める決意で町に補助金の要望をしています。財政事情等で成果を得られず、26年度も極少の予算で、厳しい財政運営を強いられ活動の制約もあります。限られた財政の中で効果的な活用が出来るよう「最小の予算で、最大の効果」を目指します。財政拡充の積極的な提言をお願いします。

【第7号議案：平成26年度役員及び理事の承認】

26 年度役員(案) (順不同)

会長 (1 名)	内山江差夫 (個人・NPO あびの実)
副会長 (1 名)	山下和彦 (劇団かぶつ代表)
事務局長 (1 名)	山田幸也 (個人)
会計 (1 名)	山下久美子 (個人・NPO あびの実)

理事 (12 名) 1 名欠員

栗田 知美 (コウリマ ナニエ代表)	大沢幸一 (個人)
浅沼優子 (D→CREW 代表)	奥山 隆 (八丈太鼓月曜会代表)
金川富一 (ガレージハウス代表)	川上絢子 (劇団かぶつ)
小泉雅一 (個人)	笹本 薫 (図書館の会代表)
菊池一明 (個人)	山下巧 (八丈混声合唱団代表)
佐々木優保 (個人)	

監事 (2 名)

佐藤 謙 (ポットホール代表)	林 薫 (個人)
-----------------	----------

役員 (理事) の任期は 2 年のため、今年度は役員を選任は原則行ないませんが、浅沼亨年会長逝去及び林冬人理事の辞任に伴う補充と役職改選の承認をお願いします。

3. 文化協会のこれからに対する意見交換